

塩谷郡市医師会だより

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

広報紙発行によせて

塩谷郡市医師会 黒須節三
本年第二回理事会で塩谷郡市医師会広報紙が発行されることになりました。

理事会の決定事項、県医師会各種委員会の報告等々、全会員にお知らせできると思います。また、全会員からの声も広報紙に反映させていただきたいと思っております。理事会の先生方、特に若い先生方のご協力で広報紙が発行される運びとなり感謝にたえません。広報紙によって、これからの塩谷郡市医師会の記録、歴史が刻まれて行くでしょう。益々の活動を期待しております。

平成 10 年度第 2 回役員会報告

6 月 22 日(月)午後 6 時 30 分から 9 時 15 分まで、医師会事務室で役員会が行われました。出席役員は、黒須会長、松村・村井副会長、大野・戸村・尾形(新)・阿久津(正美)・小林(裕)・小林(正)・池田・尾形(直)・瀧澤理事、西川・橋本監事でした。

黒須会長の挨拶の後、以下の議題について話し合われました。

議題(1) 塩谷郡市医師会広報について。

郡市医師会の理事会や、県医師会の委員会での討議事項の内容を、いかに各会員に広報すべきかが話し合われました。結局、予算もないので、とりあえず B4 1 枚程度の広報紙を 7 月初旬に発行することになりました。(今お読みいただいているこの文書です)

当分の間は、医師会史編集対策委員から池田・戸村理事が役員会議の内容の要点を記録して、尾形(新)理事がパソコンを使用して編集することになりました。県の役員会・委員会に出席した役員は、広報紙に載せるべく記事を作成して、戸村か尾形(新)あてに送るよう決められました。

栃医新聞「郡市医師会だより」への塩谷郡市からの投稿は檜山先生に会長からお願いしたそうです。7 月 25 日号です。

議題(2) 塩谷郡市医学講座の継続、300 回記念誌・記念講演について。

303 回までは終了しているが、304 回以降のことや、記念講演、記念誌については学術委員会で決定することになりました。

議題(3) 塩谷郡市医師会史編集について。

とりあえず、檜山・村井委員に古いところを書き出しておいて頂くことになりました。その後は、斎藤委員を中心に、編集することになります。

議題(4) その他。

医師会の事務を公募したところ 4 名の応募があ

り、面接の結果、足銀人事部よりの推薦の元支店長であった桜岡葆民氏(60 歳)の採用が決められました。7 月より事務所に出勤、大島臨時元事務長と引き継ぎが行われます。なお、面接・採用は、特別委員会(黒須会長、大野・阿久津(正美)・齊藤・尾形(直)・戸村理事)で行いました。

* 事務局のあり方について、各理事からさまざまな意見がでました。

「事務職になんでも仕事を押しつけてしまうのは良くない」、「事務職にまかせるべきものでないものもあり、各委員会所属の医師が積極的に活動すれば、事務とのトラブルも解消できる」など、活発な議論がかわされました。

* 参議院選挙の郡市医師会の推薦の方法についての議論がありました。医師連盟のお金は医師のために有効に使ってもらいたいという意見も出ました。

* 医師会事務局から。

麻薬撲滅のポスター配布と、郡市医師会全体で 6 つの医療機関の窓口で募金運動(募金箱設置)を行うことになりました。「ダメ。ゼッタイ。普及運動 国連支援募金」です。

* 8 月に事務の服務規程などを作成し、次回の役員会は 9 月 21 日(月)の予定となりました。



母体保護法指定医師審査委員会報告

森島医院(氏家) 森島邦夫

日時 平成 10 年 6 月 26 日(金) 午後 3 時～

場所 栃木県医師会常任理事会室

協議

(1)母体保護法指定医師新規申請について(7 件)

塩谷郡市医師会関係では、森島真(森島医院)会員が H10/ 4/10 付けで指定医となりました。

平成 10 年度第 1 回学術委員会 報告

池田クリニック(矢板) 池田 斉

7 月 3 日(金)午後 6 時 30 分～9 時 50 分まで、医師会事務室で上記委員会が開かれた。

出席委員は黒須会長、檜山・小林(正)・阿久津(正之)・大和田・瀧澤・池田各学術委員。

編集 塩谷郡市医師会編集部

戸村 光宏 Tel 0287(46)0022 Fax (46)0472 EMAIL mituhiro.tomura@nifty.ne.jp

池田 斉 Tel 0287(43)7867 Fax (43)0207

尾形 新一郎 Tel 0287(45)2222 Fax (45)2223 EMAIL INET:ogatain@kinugawa.co.jp

会長挨拶の後、委員長に瀧澤委員を選出し、以下の議題について話し合われました。

議題(1) 塩谷郡市医学講座の継続について

会長及び檜山委員より 300 回までの経過の説明を頂き、次回からは塩谷郡市医学講座を学術委員会を引き継ぐことになりました。

長い間世話人をなさってきた檜山委員から辞任の申し出がありましたが、顧問として残っていただくことになりました。

今後は年間6回の開催とし、次回の 304 回は 10 月に予定しております。

議題(2) 塩谷郡市医師会 300 回記念誌発行について

編集委員長に桧山委員を選出し、各医師団に投稿を依頼して締め切りは8月末と決定しました。会員に学術委員より依頼がありましたらご協力のほどお願いいたします。

議題(3) 塩谷郡市医師会 300 回記念講演について

会長より介護保険について公開での講演にしたいとの申し出がありましたので了承しました。記念講演は 11 月を予定しています。

投稿記事 医師会事務局のあり方

池田クリニック(矢板) 池田 斉

この度、新しい事務職員が採用され、医師会事務局が正常に機能する運びとなりましたことは喜ばしい限りです。円滑な引き継ぎが行われることを期待しております。昨年6月の事務長退職後の混乱は、会員にとって多くの戸惑いと不満をもたらしました。これらの経過をふまえて、今後の事務局のあり方について、意見を述べさせていただきます。

黒須会長によれば、事務局の業務は以下の通りです。

- ① 日本医師会、栃木県医師会からの通達、問い合わせの連絡。
- ② 医師会会員への各種手続きの通知。
- ③ 会計業務。
- ④ 保険業務。
- ⑤ 総会、役員会など会議の通知及び準備。

これらの業務が円滑に機能し、かつ役員の交代、事務員の退職などが生じても滞りなく引き継がれることが必要です。事務局が会長代行や、秘書のような業務まですることになると、事務本来の仕事の停滞や会員の不満の原因となりかねません。会長代行的な仕事は副会長の役割とすれば良いと思います。また、各種委員が、それぞれその処理に当たれば事務局の業務も軽減すると思われます。今回の広報紙に関しては、委員会が中心となって発行する運びとなりましたが、これも試みの一つであると思います。(ドクターズゴルフ倶楽部も会員の自主的運営です) 会計業務に関しても平成9年度の決算書作成に当たった大野会計担当理事が詳細に把握しておられます

が、この点で全く事務任せでない医師会の活動といえると思います。

上記業務でいえば、①②は、会長・副会長と事務局の密接な連絡によってとりはかられるべきであります。また、④の保険業務に関しては医師会活動費の重要な財源ですが、この先不透明な状況でもあり、検討の余地があると考えます。⑤に関しては、開催前の書類の作成や開催時間などで改善の余地があると思います。

以上、医師会事務局の業務を明確にした上で、事務職員の職務規程が作成されれば、採用後のトラブルは避けうるものと思います。

最後に、これらの業務を1名の事務員で行えるのか、問題となるところですが、経費増にもなり、会員一同で考えるべきものと思います。

准看について

当会員の一人が、準看護婦についてパンフレットを個人的に作成しました。看護学校などに配布するそうです。「21 世紀の看護医療はハードワークからハートワークへ」と題して(準看護婦という素晴らしい職業について)述べております。一部を要約抜粋して紹介します。

一部団体やマスコミのキャンペーンを見聞きして、ああ準看はダメなんだと考えて、ほこりや意欲を傷つけられてはいませんか。看護の守備範囲は広く、大きな病院で高度な医療に従事する看護婦さんと、地域に根ざした心のこもった医療に従事する準看護婦さんとは守備範囲が異なります。どちらも患者さんの役に立つすばらしい仕事なものですから、地域医療の方が、高度医療よりも劣るということではないのです。我々開業医は、準看護婦さんを応援します。

パンフレットを詳しく知りたい方は、編集委員までご一報下さい。制作された会員(匿名希望)に連絡します。

塩谷郡市ドクターズゴルフ倶楽部

後藤医院(矢板) 後藤哲郎

塩谷郡市の医師会員が仕事以外でも親睦を深めあおうと、ゴルフ好きが集まって自然発生した同好会的な倶楽部です。医師会の公式活動ではありませんがその歴史は意外と古く、昭和 45 年1月に第1回目が始まり、以後ほとんど毎月かかさず例会がおこなわれ、今年で 29 年目 330 回になろうとしています。以前は医師会事務局に運営をお願いしていましたが 10 年前からは独立し会員独自で運営しており、現在の会員は 23 名で毎月第3日曜日を例会日としております。プレー終了後には簡単な懇親会を行い、仕事の話や私的な会話など普段出来ない雑談を楽しんでいます。7月の例会は 19 日に馬頭GCの予定です。興味のある方、入会希望者は事務局担当(矢板市・後藤 0287-44-2323)まで連絡して下さい。

編集部からのお願い

この創刊号は、塩谷郡市医師会編集部が担当し制作いたしました。当分は暫定の編集部であります。2ヶ月に1度の理事会の後に、今後も継続して発行したいと考えております。そうなれば、当然経費等もかかりますので、正式な編集部が作られることを望んでおります。会員の皆様の中で、編集にご協力いただける先生がおられましたら、ぜひご一報下さい。

また、役員会からの一方的な情報伝達だけではなく、会員各位のご意見も広く募集し、紙面を充実させていきたいと考えておりますので、ご投稿の程よろしくお願いいたします。

第2回県保険委員会(6月30日)報告

保険委員: 戸村医院(塩谷) 戸村光宏

#1, 支払基金より

- ・結腸早期悪性腫瘍内視鏡的粘膜切除術について。
各県及び日本医師会のQ&Aが配布され、会員への周知を依頼された。栃医新聞に掲載される予定。
- ・8月から、社保の受付日は9日 10 日となり(休日の場合もそのまま)9日は相談日であるので、その日に不明の点は相談して欲しい。

#2, 質問事項

- ・実日数1日で、便ヘモグロビンなどを3回施行できるのか。
(答) 診療実日数が1日であれば1回しか認めないというのが厚生省の見解です。3日受診すれば3回は認められるそうです。
 - ・糖尿病初診時の耐糖能精密検査の可否について。
(答) 最近糖尿病の診断基準が変更になったので、注目して下さい。糖負荷試験、精密検査を行うかどうかは、その患者に必要なかどうかで判断し、糖尿病の患者全例に行うなどとパターン化した検査は避けて下さい。
 - ・老人慢性疾患外来総合診療料における往診時の再診料の扱いについて。
(答) 通常の外総診と同じく、外来管理加算が算定できるのは3回目だけです。
⑨外総診については各郡市から複数の医療機関で算定できない弊害が指摘された。
 - ・糖尿病性腎障害・網膜症における30日分処方について。
(答) 30日処方できる病名及び薬剤でなければできないので、この場合は処方できません。
 - ・プロスタンディンの取り扱いについて。
(答) 症状を厳密に診断して使用して下さい。
⑨減点されやすいので、レセプトにコメントを記載したほうがトラブルにならないようです。
 - ・血沈とCRP同時施行について(施行した全例で減点された)。
(答) 疾患によっては必要なこともあるのでケースバイケース。ルーチンに行っては減点されることがあります。
⑨以前の保険委員会でも討議済みなのに、未だに全例を減点する審査員がいるようで問題です。
 - ・RISTとRASTの同時算定について。
(答) 同時算定は認められていません。RISTを検査し残っている血清で後日、RASTを検査しても同時と解釈して認められません。
 - ・胃癌患者の手術日と翌日に点滴中のセファメジン2gづつが減点されたが、問題はあるのでしょうか。
(答) 術後2~3日は認められます。再審査請求して下さい。
 - ・2月の当委員会で「発作性心房細動は治る病気であるので、治療も必要ないし、血液生化学検査の必要もない」「糖尿病の初診月の心電図検査は(心筋虚血疑い)などの病名がないと認めない」ということでしたが、いろいろな病名をレセプトに記入することは、レセプト開示の時代ですから好ましくないと思います。また、発作性心房細動の生化学検査や、糖尿病の初診月の心電図検査は審査の先生によると「当然認める」という先生が大部分です。審査の先生方で統一された見解を出して下さいを望みます。
(答) 審査員は大勢いるのでなかなか統一した見解は難しい。個々の例で問題があるような場合は、再審査したり、保険委員会に問題として出して下さい。
⑨審査員の見解の統一が難しいということはあるでしょうが、それでは、審査される側は困ります。問題のある審査の先生もいるようですので、納得のいかない審査があれば、保険委員会で取り上げますので、保険委員まで連絡下さい。
 - ・強力ミノファゲンCは慢性肝炎の場合は40~60ml使用するが、その他の場合は5~20ml使用するとなっていますが、中毒疹や蕁麻疹の場合で症状がひどいときはどの程度まで認められるのでしょうか。
(答) 通常1.5倍まで認めます。従って30mlですが、20mlのアンプルですから40mlまで認めます。全例では認められません。あくまでも重い場合だけです。
- その他: 老人外総診の場合、急性疾患の病名がレセプトに記載されないことがあり、院外処方箋の場合に減点されることがあります。レセプトと診療録の病名をそろえておくようにして下さい。院内処方の場合も薬情の算定回数にもかかわるので病名記載を忘れないで下さい。

